

## 病院が開設した「医療と地域の連携拠点」～なるこみ～

和歌山市鳴神にある医療法人久仁会・宇都宮病院は、和歌山市内で最初に医療療養病床の認可を受け、地域密着型の慢性期医療に力をいれ、入院患者と地域の連携を考え運営展開されています。

そんな地域連携の「場」となる多目的コミュニティスペース「なるこみ」が2015年10月に病院敷地内にオープンしました。

地域の様々な主体をつなげる

「なるこみ」とは、「和歌山市鳴神」にある「コミュニティスペース」の略で、地域住民のためのコミュニティ施設です。「なるこみ」の活動目的は、(1)地域住民が主体となつて(2)地域の健康と福祉に関わる交流を推進し、(3)地域の医療・食・農の連携を目指す地域活性化にあることです。

身体によい食事 「なるこみ」には、テーブル席とカウンター席合わせて50席ほどの外来食堂があります。

外来食堂のメニューは、メイン料理を2種類から選べ、副菜やご飯・スープが食べ放題の「和歌山薬膳ランチ(1000円)」と、惣菜4種類にごはん・スープが付く「ワンコインランチ」を提供し

ています。プラス2000円でコーヒーと薬膳デザートをいただくことができます。



地域の子どもたちも交えてもちつき体験!

健康を考えバランス良く、季節や自分の体質や体調に合わせて食べることで、栄養を効果的に取り入れられるオーダーメイドの食事ができます。

「なるこみ」は、外食店の営業時間外には病院職員や地域住民が講師となつて、体操教室、コーヒーマナー、花とお茶を楽しむ会など、様々な教室や講座が企画・開催されています。

特に鳴神ファームは、農家が開設・運営・管理・指導し、好きな時間に自然のなかで楽しんで農業したい人にはうってつけ。現在利用者募集中だそうです。



わかやま薬落会による寄席

「なるこみ」は各教室・講座以外にも、落語を中心とした笑いの文化の研究や発表交流等の活動をすすめて

「なるこみ」は老若男女問わず、地域のコミュニティの「場」として多種多様な企画を展開しています。こうした場を、多くの人に活用することで、地域の活性化にもつながるのではと期待がふくらみます。(金 宏美)

なるこみ (宇都宮病院敷地内)  
〒640-8303 和歌山市鳴神 505-4  
電話 073-471-3148 FAX 073-471-6399  
URL http://www.narucomi.com/  
外来食堂営業時間 11:00～14:00  
定休日 日曜・祝日

2016年4月の主なスケジュール  
●毎週木曜・金曜(28・29日を除く) 15:00～16:00  
なるこみ体操  
●4日(月) 15:00～16:00  
花とお茶を楽しむ会  
●18日(月) 15:00～16:00  
キッチンガーデンセミナー

●13日(木) 15:00～16:00  
いきいき健康フラ  
●13日(木) 18:00～19:00  
インド式ヨガ教室  
◆一部事業は参加費が必要です。  
◆事前申し込み制のためすでに満員となっている事業があります。詳しくはお問い合わせ下さい。

## NPO 紙上講座 (29) NPO 法人をつくろう! ⑫

A 前回、NPO やボランティア団体が施設の賃借料などを免除や割り引いてもらうことが、不利益をこうむることがあるって言ってたけど、それってどういうこと?

B もちろん、活動する団体の側は、施設が安く使えたらうれしいよね。施設だけではなく、ボランティアで様々なことを手伝ってくれる方がたくさんいたり、物品を誰かから寄附してもらったりすると、これもまた活動経費が抑えられるのでうれしいよね。

A 少ない費用で活動を組み立ててやりくりする側にとってみればありがたいことだね。

B ところが、少ない経費でみんなのためになることをやってくれる、ということは「安く使われる」懸念があるということになるんだ。

A どういうこと?

B 地域で本当に困っていて「これは助けてあげなければならない」ということであればいいんだけど、「あの団体はボランティアで活動しているから経費が安くあがるから、この仕事をやってもらおう」と、まるで安い下請けのように仕事が持ち込まれること

がありうるんだ。  
A なるほど、「NPO やボランティア団体は活動経費がそんなにかからない」と決めつけて、依頼されちゃうと、団体の側はしんどいね。

B 「NPO だから安くあがるんでしょ?」って言われちゃう。もちろん、NPO やボランティアがおこなう事業は、同じことを一般の企業が行うよりは安いケースが多いけれども、金額の大小だけで仕事を持ち込まれちゃうと、思いをもって活動している NPO やボランティア団体の意義が薄れちゃうよね。

A NPO やボランティア団体はお金ありきじゃないけど、活動するための資金は必要。でも一般の企業じゃないから、資金がうまくやりくりできるだけが問題じゃないわけだ。きちんと想いを酌んでくれる相手じゃないと仕事はしづらいよね。

B NPO の側も単なる安請け合いを繰り返してたらどんどんジリ貧になっちゃうかねない。自分たちの活動の価値をきちんと考えておく必要もあるかもしれないね。

A なにか可視化できないかなあ。

B いま NPO 法人の多くが採用している「NPO 法人会計基準」では、ボランティアが活動したり、施設を無料で使ったりしたことによって間接的に得た利益を計上できる仕組みが用意されている。例えば、この事業は実際は費用 30 万円できただけで、ボランティアではなくアルバイトが手伝ってくれたとすれば実際は 50 万円かかったんだよ、だとか、NPO の趣旨に賛同して土地を無償で貸してくれた場合、実際にお金は発生していないけれども本来は 10 万円の賃借料を払う必要があったんだ、といったようなことが表現できるんだ。

A 本来は 3 万円かかるデザインの仕事を NPO の趣旨に賛同して 1 万円で作ってくれた。でも 1 万円の支出だけが会計報告に出てしまうと「あの方にデザインを頼むと 1 万円で済んだ」と勘違いされかねない。そうしたことにも対応できそうだね。

B そうだね。活動の原価をきちんと把握して公開することで、NPO やボランティアの活動の本当の価値を見せることが期待できるのと、関わってくれる様々な方の価値をも明らかにできる、という意味で、この考え方はどこかに留めておいてもいいと思うよ。次回は、NPO 法人と税金について取り上げよう。

### みんなでつくる情報板

## わかやまイベントボード

#### ●第12回 孫まつり

毎年恒例! 九度山真田鉄砲隊などの鉄砲演武も。

日時 3月27日(日) 11:00～16:00

場所 和歌山市本願寺鷲森別院と周辺地域

内容 雑賀衆武者行列、戦国野外劇『信長を撃て! ガンマン雑賀孫市☆百発百中』、鉄砲演武、勉強会『映画「尻くらえ孫市」から学ぶ雑賀孫市』、ライブ、ちゃんこの振舞いなど多数  
問い合わせ 孫市の会 (073-423-3136)

備考 詳細はウェブサイトで見えます。

日時 3月27日(日) 14:00～

場所 和歌山県立医科大学保健看護学部大講義室

講師 徳丸ゆき子さん(大阪子どもの貧困アクショングループ代表)

主催 NPO 法人和歌山虐待防止協会

問い合わせ 県立医大保健看護学部 (073-446-6724)

●ちよこっとお寺体験・仏教あるある・忍者のお話会

仏教の基礎知識や作法など学びます。春休みの学習にいかがですか。

日程 4月2日(土) 9:00～11:00

場所 雲城山正教寺(和歌山市冬野1045)

内容 仏教基礎知識(仏教全般や和歌山の仏教について)、お寺体験(お経の読み方、お焼香の仕方など)、忍者による絵本読み聞かせ  
参加費 無料(事前申込必要)  
定員 親子20組  
問い合わせ・申し込み 雲城山正教寺 (073-479-1871)

●古典植物と山野草展

春蘭、風蘭、セッコク、カンアオイ、葉芸品や山野草等、約180鉢を展示。即売もあります。

日程 4月2日(土)・3日(日) 両日とも9:00～17:00

場所 和歌山県植物公園緑花センター

入場料 無料(緑花センターの入園料は必要です)

主催 和歌山古典植物同好会

このほかの情報もたくさん掲載! 「わかやまイベントボード」URL

PC版 http://eventboard.shiminjuku.jp/

携帯電話版 http://eventboard.shiminjuku.jp/m/

